

**特別企画：熊本県メインバンク調査**

# トップは肥後銀行、シェアは6割にせまる

## ～ 上位 10 行に順位変動なし ～

### はじめに

2014年11月10日、九州の有力地銀である肥後銀行と鹿児島銀行が、統合に向け交渉していることを正式発表。その4日後には、地銀トップの横浜銀行と、都内に本店を置く東日本銀行が経営統合検討を発表するなど、ここに来て各地で「地銀再編」の機運が高まっている。中小企業からも、資金調達先である金融機関の再編には高い関心が寄せられている。事業承継・廃業支援など政府による「新陳代謝」促進も活発化するなか、各社のメインバンクとの関係性は、極めて重要な時期に来ている。

帝国データバンク熊本支店は、2014年12月末時点の企業概要ファイル「COSMOS2」に収録されている企業（145万社）がメインバンクと認識している金融機関について抽出し、集計した。

なお、調査対象は全業種全法人で、個人経営も含む。同調査は2013年2月に続き4回目。

※ 本調査は「COSMOS2」に収録されている企業のデータであるため、各金融機関がメインとして取引している実数とは異なる。また、一企業に複数のメインがあるケースでは、企業が最上位として認識している金融機関のみを集計した。

### 調査結果(要旨)

1. 上位 10 行の順位に変化はなく、各行のシェア変動は 0.1 ポイント以内（2013 年調査比）。
2. 全業種で 1 位肥後銀行、2 位熊本銀行の構図は変わらず。
3. 売上規模別では 5 億円以上で熊本銀行がシェアを伸ばしている。

## 1. 上位 20 行ランキング ～順位に変動なしも肥後がシェア伸ばす～

熊本県下の企業がメインバンクと認識している金融機関の1位は肥後銀行（熊本市）の11,468社（構成比59.8%）。2位は熊本銀行（熊本市）で3,695社（同19.3%）となった。ともに2013年調査時より社数を増やしたが、構成比では肥後銀行は0.3ポイント増であったのに対し、熊本銀行は0.1ポイント減であった。ランキング内では、肥後銀行以外の構成比は0.1ポイント内の増減にとどまっており、上位10行の顔ぶれに変化はなかったが、前回17位の北九州銀行が農林中金を上回り16位に浮上した。

### ■メインバンク企業数ランキング

順位	前回	金融機関名	本店所在地	2014年		2013年		順位	前回	金融機関名	本店所在地	2014年		2013年	
				社数	構成比	社数	構成比					社数	構成比	社数	構成比
1	1	肥後	熊本市	11,468	59.8%	11,279	59.5%	11	11	福岡	福岡市	108	0.6%	104	0.5%
2	2	熊本	熊本市	3,695	19.3%	3,674	19.4%	12	12	みずほ	東京都	87	0.5%	96	0.5%
3	3	熊本第一信金	熊本市	839	4.4%	845	4.5%	13	13	三菱東京UFJ	東京都	79	0.4%	79	0.4%
4	4	熊本中央信金	熊本市	612	3.2%	606	3.2%	14	14	三井住友	東京都	75	0.4%	74	0.4%
5	5	熊本信金	熊本市	531	2.8%	525	2.8%	15	15	長崎	長崎市	46	0.2%	50	0.3%
6	6	天草信金	天草市	399	2.1%	391	2.1%	16	17	北九州	北九州市	39	0.2%	36	0.2%
7	7	熊本県信組	熊本市	276	1.4%	279	1.5%	17	16	農林中金	東京都	38	0.2%	38	0.2%
8	8	西日本シティ	福岡市	174	0.9%	172	0.9%	18	18	あまくさ農協	天草市	34	0.2%	34	0.2%
9	9	南日本	鹿児島市	159	0.8%	163	0.9%	19	19	りそな	大阪府	29	0.2%	30	0.1%
10	10	商工中金	東京都	112	0.6%	107	0.6%	20	20	球磨地域農協	球磨郡	27	0.1%	26	0.1%

注) 構成比は、全調査対象企業(1万9182社)に占める割合  
 前回構成比は、2013年12月の対象企業(1万8966社)に占める割合

## 2. 業種別ランキング ～全業種で肥銀がトップシェアとなる～

取引先の業種別分析においても、各業種で肥後銀行が1位を独占しており、運輸・通信を除く業種で50%を超えている。熊本銀行は全業種で2位のシェアを獲得している。ただし、卸売、小売、運輸・通信では肥後銀行がシェアを落としている。

多くの業種で3位に着けているのは熊本第一信金（熊本市）であるが、運輸・倉庫業では天草信金が7.3%のシェアを獲得して、2013年に続き3位となった。

同信金が営業エリアとする天草地区は、都市圏から遠隔地であるが故に海運・陸上運送が独自に発達していることが要因と見られる。なお、各業種で4位・5位争いをしている熊本信金（熊本市）と熊本中央信金（熊本市）の順位変動はなかったが、シェアは相変わらず拮抗している。

## ■業種別メインバンク企業数ランキング(上位10行)

## 建設

順位	金融機関名	2014年 社数	構成比	
			2014年	前回
1	肥後	3,720	63.3%	63.3%
2	熊本	1,145	19.5%	19.5%
3	熊本第一信金	233	4.0%	4.0%
4	熊本信金	192	3.3%	3.1%
5	熊本中央信金	180	3.1%	3.0%
6	天草信金	129	2.2%	2.2%
7	熊本県信組	68	1.2%	1.1%
8	西日本シティ	47	0.8%	0.8%
9	南日本	42	0.7%	0.7%
10	福岡	18	0.3%	0.3%
合計		5,875		

## 卸売

順位	金融機関名	2014年 社数	構成比	
			2014年	前回
1	肥後	1,147	55.7%	55.8%
2	熊本	450	21.9%	21.9%
3	熊本第一信金	99	4.8%	4.8%
4	熊本信金	60	2.9%	3.0%
5	熊本中央信金	51	2.5%	2.3%
6	熊本県信組	39	1.9%	2.0%
7	天草信金	30	1.5%	1.5%
8	商工中金	25	1.2%	1.1%
9	西日本シティ	22	1.1%	1.2%
	南日本	22	1.1%	1.2%
合計		2,059		

## 不動産

順位	金融機関名	2014年 社数	構成比	
			2014年	前回
1	肥後	495	52.0%	51.0%
2	熊本	231	24.3%	25.0%
3	熊本第一信金	70	7.4%	8.2%
4	熊本信金	38	4.0%	4.0%
5	熊本中央信金	30	3.2%	3.0%
6	西日本シティ	10	1.1%	1.0%
7	三菱東京UFJ	9	0.9%	0.8%
8	南日本	7	0.7%	0.7%
	福岡	7	0.7%	0.7%
	三井住友	7	0.7%	0.7%
合計		952		

## サービス

順位	金融機関名	2014年 社数	構成比	
			2014年	前回
1	肥後	3090	65.0%	63.9%
2	熊本	804	16.9%	17.4%
3	熊本第一信金	186	3.9%	4.0%
4	熊本中央信金	126	2.6%	2.8%
5	熊本信金	78	1.6%	1.7%
6	天草信金	75	1.6%	1.4%
7	熊本県信組	58	1.2%	1.4%
8	南日本	37	0.8%	0.8%
9	西日本シティ	31	0.7%	0.6%
	商工中金	31	0.7%	0.6%
	農林中金	31	0.7%	0.7%
合計		4,756		

## 製造

順位	金融機関名	2014年 社数	構成比	
			2014年	前回
1	肥後	867	58.1%	58.0%
2	熊本	269	18.0%	18.1%
3	熊本第一信金	55	3.7%	3.8%
4	熊本中央信金	48	3.2%	3.1%
5	熊本信金	33	2.2%	2.3%
6	商工中金	26	1.7%	1.6%
7	西日本シティ	25	1.7%	1.5%
8	天草信金	22	1.5%	1.5%
9	福岡	20	1.3%	1.5%
	みずほ	20	1.3%	1.7%
合計		1,493		

## 小売

順位	金融機関名	2014年 社数	構成比	
			2014年	前回
1	肥後	1,578	55.2%	55.6%
2	熊本	564	19.7%	19.3%
3	熊本第一信金	158	5.5%	5.5%
4	熊本中央信金	143	5.0%	5.1%
5	熊本信金	107	3.7%	3.8%
6	天草信金	71	2.5%	2.5%
7	熊本県信組	60	2.1%	1.9%
8	南日本	30	1.1%	1.1%
9	西日本シティ	25	0.9%	0.9%
10	みずほ	16	0.6%	0.7%
合計		2,857		

## 運輸・通信

順位	金融機関名	2014年 社数	構成比	
			2014年	前回
1	肥後	316	49.1%	49.9%
2	熊本	147	22.8%	22.2%
3	天草信金	47	7.3%	6.8%
4	熊本第一信金	27	4.2%	4.3%
5	熊本信金	18	2.8%	2.8%
6	熊本中央信金	17	2.6%	2.6%
7	熊本県信組	13	2.0%	2.2%
8	西日本シティ	9	1.4%	1.4%
	商工中金	9	1.4%	1.6%
9	南日本	7	1.1%	1.2%
合計		644		

注) 熊本銀行は2013年4月に熊本ファミリー銀行から  
商号変更

### 3. 売上規模別ランキング ～大規模企業に地元地銀の攻勢～

取引先の売上規模を6段階に分類した分析でも、2013年調査同様に1位肥後銀行、2位熊本銀行の体制は変わらなかった。

熊本県内では大規模の部類とも言える10億円以上50億円未満の段階では、熊本銀行と福岡銀行のFFG勢がシェアアップしているのに対し、肥後銀行は1.5ポイントのダウンとなった。また、50億円以上の段階では肥後銀行及び熊本銀行がシェア奪還している一方で、みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行といった都市銀行がシェアダウンしている。熊本銀行は福岡銀行との連携で大企業向けの営業ノウハウに強みを発揮しつつあるようで、地方銀行の巻き返しが顕在化している。

#### ■売り上げ規模別メインバンク企業数ランキング(上位10行)

##### 5000万円未満

順位	金融機関名	2014年社数	構成比	前回
1	肥後	4,592	61.3%	60.7%
2	熊本	1,408	18.8%	19.0%
3	熊本第一信金	311	4.1%	4.4%
4	熊本中央信金	253	3.4%	3.3%
5	熊本信金	227	3.0%	3.1%
6	天草信金	185	2.5%	2.5%
7	熊本県信組	128	1.7%	1.8%
8	西日本シティ	58	0.8%	0.8%
9	南日本	47	0.6%	0.6%
10	みずほ	24	0.3%	0.3%
合計		7,496		

##### 5000万円以上1億円未満

順位	金融機関名	2014年社数	構成比	前回
1	肥後	2,306	61.4%	61.3%
2	熊本	687	18.3%	18.2%
3	熊本第一信金	187	5.0%	4.7%
4	熊本中央信金	135	3.6%	3.9%
5	熊本信金	108	2.9%	2.8%
6	天草信金	77	2.0%	2.0%
7	熊本県信組	63	1.7%	1.5%
8	南日本	37	1.0%	1.1%
9	西日本シティ	22	0.6%	0.6%
10	福岡	16	0.4%	0.3%
合計		3,758		

##### 1億円以上5億円未満

順位	金融機関名	2014年社数	構成比	前回
1	肥後	3,458	58.8%	58.3%
2	熊本	1,189	20.2%	20.3%
3	熊本第一信金	271	4.6%	4.7%
4	熊本中央信金	186	3.2%	3.1%
5	熊本信金	172	2.9%	2.8%
6	天草信金	126	2.1%	2.0%
7	熊本県信組	74	1.3%	1.3%
8	西日本シティ	66	1.1%	1.2%
9	南日本	49	0.8%	0.9%
10	商工中金	36	0.6%	0.2%
合計		5,876		

##### 5億円以上10億円未満

順位	金融機関名	2014年社数	構成比	前回
1	肥後	546	54.3%	53.8%
2	熊本	226	22.5%	23.3%
3	熊本第一信金	50	5.0%	4.8%
4	商工中金	27	2.7%	2.2%
5	熊本中央信金	26	2.6%	2.5%
6	熊本信金	15	1.5%	1.3%
7	西日本シティ	14	1.4%	1.3%
8	福岡	14	1.4%	1.5%
9	南日本	11	1.1%	0.9%
10	天草信金	9	0.9%	1.1%
合計		1,005		

##### 10億円以上50億円未満

順位	金融機関名	2014年社数	構成比	前回
1	肥後	454	55.4%	56.9%
2	熊本	164	20.0%	19.5%
3	福岡	26	3.2%	2.6%
4	商工中金	23	2.8%	2.7%
5	熊本第一信金	20	2.4%	2.4%
6	南日本	14	1.7%	1.6%
7	みずほ	14	1.7%	1.7%
8	三菱東京UFJ	14	1.7%	1.7%
9	熊本中央信金	12	1.5%	0.9%
10	三井住友	12	1.5%	1.4%
合計		819		

##### 50億円以上

順位	金融機関名	2014年社数	構成比	前回
1	肥後	112	49.1%	48.9%
2	熊本	21	9.2%	7.8%
3	みずほ	17	7.5%	9.6%
4	三菱東京UFJ	12	5.3%	5.5%
5	三井住友	8	3.5%	3.7%
6	農林中金	8	3.5%	3.7%
7	商工中金	5	2.2%	2.3%
8	西日本シティ	4	1.8%	1.4%
9	信金中央金庫	4	1.8%	1.8%
10	りそな	3	1.3%	0.9%
	日本政策金融公庫	3	1.3%	1.4%
合計		228		

## 4. まとめ

熊本県では、各業種・各規模に関わらず幅広い地盤を持つ、**肥後銀行**がトップシェアを握っていることがわかった。しかし、売上規模が大きくなるに従って、**熊本銀行**がシェアを伸ばしている様子が明らかとなっており、大企業への大型融資の経験が豊富な**福岡銀行**との協調など、F F Gグループとしての強みが徐々に発揮されている様子が見えてきた。

なお、**肥後銀行**と経営統合に向けた協議が続いている**鹿児島銀行**は、今回の調査では熊本県内の20位以内にランキングしていない。そのため、メインバンクの観点で言えば、統合後直ちに両行（九州フィナンシャルグループ）の影響力が大きくなるとは考えにくい。前述のF F Gの例から見ても分かる通り、2～3年後には得意分野のノウハウ共有や不得意分野の相互補完により強みを発揮してくる可能性が高い。

地方銀行の再編が更に加速するかどうかは判断できないが、いずれにしても、熊本県内でトップ2のシェアを持つ、**肥後銀行**と**熊本銀行**が、これまでの地域密着型の支援体制に加え、広域的な営業や、グループの規模を生かした大口融資を積極化できる体制も整えてくることは確実であり、結果として都市銀行との貸し出し競争も激化してくるであろう。

### 【問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 熊本支店 担当：水城

TEL：096-324-3344 FAX：096-354-4787

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。